



# Cool T Yamanashi

東京企画

第1弾!

甲州人 先人たちの偉業を訪ねて

根津嘉一郎翁の巻

2023年6月22日(木)

時間	所要時間	見学地	備考
8:45		新宿駅西口9番出口(地上)集合	雨天の場合は地下集合
9:00		新宿駅出発	
9:30~10:30	60分	武蔵高等学校中学校	
	50分	移動	
11:20~13:20	120分	東京スカイツリー	
	10分	移動	
13:30~14:30	60分	昼食 本所吾妻橋 割烹とんぼ(予定)	
	60分	移動	
15:30~17:00	90分	根津美術館	鑑賞後自由解散となります

## 当日の緊急連絡先

東武トップツアーズ (山本)

山梨県人会連合会 (飯島)



学校法人

根津育英会武蔵学園

武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校

山梨県人会連合会の皆様

ようこそ学校法人根津育英会武蔵学園へ

## 次 第

1. 理事長根津公一挨拶
2. 集合写真撮影
3. 武蔵学園紹介ビデオ「武蔵 100 年のあゆみ」上映
4. 構内ご案内
5. 大講堂ご案内

以 上

2023 年 6 月 22 日 (木)

## 武蔵学園大講堂について

2023年6月22日  
武蔵学園記念室

武蔵学園大講堂は武蔵学園のシンボルとなっている建物で、完成したのはいまから95年前、1928年のことです。設計は日比谷公会堂や早稲田大学大隈講堂などを手掛けたことで有名な佐藤巧一博士、施工は清水組、現在の清水建設です。

計画当初はこの場所ではなく、コの字型の大学3号館中庭に建てられるはずでしたが、教師会で「講堂をコの字の中に置かずして、この中は現在のごとく樹木ある庭園のままこれを美化したならば、生徒の心持も穏やかになり、教師室より各教室が一望のもとに見渡せて監視上にも都合よし<sup>\*1</sup>」と決定され、現在の場所に建てられることになりました。そのため切り倒されるはずだった樹木はそのまま残ることになり、そのうちの1本が学園のもう一つのシンボル、推定樹齢150年以上の「大櫨」です。

学校創立直後の1924年に設計を佐藤巧一博士に依頼することに決定し<sup>\*1</sup>、1925年には講堂の模型を根津理事長に見せて同意を得、建築にかかります<sup>\*1</sup>。高額な設計料<sup>\*2</sup>が支払われていますが、根津理事長はこの設計がよほど気に入ったらしく、実現しなかった図書館の建設も佐藤博士に依頼したいと理事会で述べています<sup>\*1</sup>。

1928年にこの講堂が完成すると、学校施設の完成と全学年の生徒がそろったことを記念した「開校式」が開かれます<sup>\*3</sup>。当時の田中儀一首相、文部大臣や東京帝国大学・京都帝国大学の総長、渋沢栄一子爵も列席する盛大なものでした。

戦争でも被害を受けなかったため建物の外観は竣工当時そのまま、内装だけが2012年に改められています。平成27年には練馬区登録文化財の指定を受けています。収容人員は約1000名、高校中学は6学年の生徒全員を一度に収容できるため入学式や卒業式、始業式などがここで行われています。大学は学生数が多いため、学部ごとに入学式・卒業式が行われています。

学校の式典のほかにも音楽会や学校主催の狂言教室、高校中学の文化祭である記念祭、大学文化祭の白雉祭でも音楽演奏や演劇、発表会などに用いられています。また映画やドラマなどの撮影にも用いられております。

講堂二階はもともと会議室として用いられており、武蔵大学の第一回入学式はこの部屋で行われたと記録されています。1994年に改装されて武蔵学園記念室となり、学園創設以

来の歴史資料が展示されています。1920年代の入試問題や教材、生徒のレポートなどから当時の高等学校での生活をうかがい知ることができます。学校から外遊生として海外に派遣された生徒が持ち帰った資料、戦時中に軍事教練で用いられた装備、終戦間際の空襲で学校に投下され、学校の寮などを全焼させた焼夷弾の残骸なども展示されています。

第5代校長・初代学長で哲学者として有名な宮本和吉は自宅が遠いため、平日は講堂に泊まり込んで執務していますが、二階南側の日当たりのよい部屋に宿泊していたのではないかと思います。

\*1：理事会記録

\*2：6000円

\*3：写真下



開校式の様子・根津理事長式辞（1928年4月15日）



企画展

# 救いの みほしとけ

— お地蔵さまの美術 —

2023年

5月27日(土) ~ 7月2日(日)

根津美術館 NEZU MUSEUM

【開館時間】午前10時~午後5時（入館は午後4時30分まで）【休館日】毎週月曜日

【入館料】オンライン日時指定予約一般1300円 学生1000円

※当日券（概1400円）販売しており、当館受付でお尋ねください。

※障害者手帳提示者及び同伴者1名は200円引き、中学生以下は無料。

日時指定 ご来館前に当館ホームページでの日時指定入館券の購入にご協力ください。

予約制 <https://www.nezu-muse.or.jp> お問い合わせ 電話 03-3400-6536

Museum Collection Exhibition  
Bodhisattva  
of Salvation:  
The Art of Jizō

根津美術館  
NEZUMUSEUM

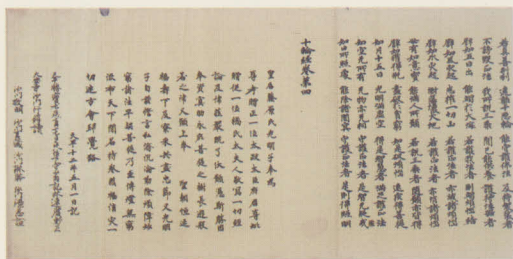


# 救いの みほとけ

—お地藏さまの美術—



【初公開】  
地藏来迎図 日本・鎌倉時代 14世紀 根津美術館蔵



大方広十輪經 卷第四(部分)  
(五月一日經)  
日本・奈良時代 8世紀  
根津美術館蔵

聖武天皇の后、光明皇后が亡き両親追福のために発願した一切經のうちの一巻。願文に「天平十二年五月一日」とあることから、五月一日經と呼ばれる。奈良時代の地藏信仰に関わる数少ない写經遺例として貴重である。



重要美術品  
矢田地蔵縁起絵巻(部分)  
日本・室町時代 16世紀  
根津美術館蔵

毎月決まった日に奈良・金剛山寺(通称矢田寺)に参詣し地藏菩薩に祈願すると、その功德によって地獄での責め苦から救済されるという霊験を図示した絵巻。12月24日に参詣し祈願すれば極楽への往生が決定されると説く。

左手に宝珠、右手に錫杖を執る地藏菩薩が、衆生を浄土へと導くため、白雲に乗って下界へ向かうさまを表す来迎図。同種の来迎図は、鎌倉時代以降数多く制作された。本作は、その繊細な顔貌表現などから、鎌倉時代後期の制作とみられる。

親しみを込めて「お地藏さま」とよばれる地藏菩薩は、おそらく日本人の誰もが知るほとけでしょう。日本では平安時代に入ってから本格的に信仰されるようになり、平安時代後期に衆生を救済するほとけとしての信仰が確立すると、それ以降は地域や時代を超えて崇められ、数多くの仏画や仏像が作られました。  
本展では、館蔵の仏画や仏像を中心として、日本における地藏信仰の歴史とその広がりを概観します。この展覧会が、地藏菩薩にかかわる美術の華麗で多様な世界を知る機会となれば幸いです。



【初公開】  
地藏十王図(秦広王図) 日本・室町時代 15世紀 根津美術館蔵



釈迦地藏来迎図 日本・鎌倉時代 14世紀 横浜市・寶生寺蔵



重要文化財 地藏菩薩立像  
日本・平安時代 久安3年(1147) 根津美術館蔵

像内の墨書銘から、久安3年(1147)に源良兼らを願主として、仏師僧快助によって造立されたことが知られる。在銘の地藏菩薩像としては最古の遺例。その顔立ちや体軀はいかにも平安後期らしい穏和さを見せている。

雲上に立つ釈迦如来と、それに従う地藏菩薩を描く。經典に基づかない非常に珍しい図様で、釈迦と弥勒を同一視し、さらに弥勒が住む兜率天への往生を地藏が導くと説いた、興福寺出身の僧貞慶の信仰が反映されている可能性がある。

地藏菩薩と十王を1尊ずつ全11幅で描いた大作で、現在10幅が伝わる。このうち秦広王図は、初七日に罪業の審判を行う様子を描いたもので、背後の衝立に描かれた山水表現などから、当代一流のやまと絵師が描いた可能性が高い。

〈展示室5〉

## 西田コレクション受贈記念 III 阿蘭陀・安南 etc.

当館顧問・西田宏子より陶磁器など工芸品169件を受贈。その中の優品を3回に分けてお披露目するシリーズ、最後の第3回は可愛らしい阿蘭陀や安南です。

藍絵花鳥文茶器 オランダ 17世紀  
根津美術館蔵 西田宏子寄贈



同時開催

〈展示室6〉

## 涼一味の茶

梅雨を迎え、蒸し暑いこの季節、茶の湯では道具に工夫を凝らすことで、清々しさを演出します。涼感をもたらす季節の茶道具約20件の取り合わせ。

三島茶碗 銘 上田曆手 朝鮮・朝鮮時代 16世紀  
根津美術館蔵



日時指定予約のお願い

ご来館前に当館ホームページでの  
日時指定入館券の購入にご協力ください。(クレジットカード決済のみ)

オンライン日時指定予約 一般 1300円 学生 1000円 5月23日(火)より、予約受付を開始する予定です。

- ※ 当日券(一般 1400円)も販売しております。  
(ご予約の方を優先してご案内いたしますので、当日券の方は少々お待ちいただくことがあります。混雑状況によっては当日券を販売しないことがあります。)
- ※ 障害者手帳提示者及び同伴者1名は200円引き。中学生以下は無料。
- 招待ハガキ等をお持ちで入館料無料の方もご予約ください。 ● ご予約はグループ10名までとさせていただきます。



ご予約はこちら

次回展 企画展「物語る絵画」

2023年7月15日(土)~8月20日(日)  
※ 7月3日(月)から7月14日(金)まで展示替えのため、休館いたします。

※ 最新情報は、ホームページをご覧くださいか、お電話にてお問い合わせください。  
公益財団法人 根津美術館 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号  
地下鉄 銀座線・半蔵門線・千代田線(表参道)駅下車  
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分  
<https://www.nezu-muse.or.jp> 電話 03-3400-2536 SNSでも最新情報配信中

